

TICAD IV ユース ダイアログ

元気なアフリカを目指して一次世代からのメッセージ

VIBRANT AFRICA – The Next Generation Speaks Out

今日の子ども達は明日のリーダーです。世界銀行東京事務所、東京開発ラーニングセンターとユニセフは 2008 年 5 月に開催される TICAD IV(第四回アフリカ開発会議)を機に、ビデオ会議によるユース ダイアログを開催します。このダイアログの成果はアフリカとアジアの国々の若い世代の声として TICAD IV に発信されます。

参加国

アフリカー ガーナ、セネガル、南アフリカ、タンザニア
アジアー 日本、韓国、ベトナム



日時・会場

2008 年 5 月 26 日(月曜日)

ガーナ

午前 8:00-10:30

世界銀行ガーナ事務所ビデオ会議室1

セネガル

午前 8:00-10:30

世界銀行セネガル事務所ビデオ会議室1

南アフリカ

午前 10:00-12:30

世界銀行南アフリカ事務所ビデオ会議室

タンザニア

午前 11:00-午後 1:30

世界銀行タンザニア事務所ビデオ会議室2

日本

午後 5:00-7:30

世界銀行東京開発ラーニングセンター

韓国

午後 5:00-7:30pm/未定

ベトナム

午後 3:00-5:30

世界銀行ベトナム事務所ビデオ会議室

目的

- アフリカにおいて持続可能な成長を実現するための課題、期待について未来を担う若い世代の視点を明確にする。
- 南南協力を進めるうえで重要となるアジアとアフリカの若者の意見交換を行い、相互理解を深め、視野を広げる。

概要

- 開会挨拶、参加国のユース グループによるプレゼンテーション、ディスカッションや全体まとめを含めた 2 時間半のビデオ会議。
- 本ダイアログで出された主な意見は TICAD IV 全体会議に向けて発信される。
- 本ダイアログの様子は、多くのアフリカ、アジア諸国の若い世代の関心を高め今後の継続的な議論につながることを目指し、インターネットでウェブキャストを行う。
- 日本からは、グローバルアジェンダに取り組むユース団体のネットワークである YDP ジャパンネットワーク、「アフリカをもっと身近にするためにユースとして何かやろう!」を目的に活動する Hot Africa、グローバル・アジェンダに取り組む日本全国の青年が、2008 年洞爺湖 G8 サミットに向けて、活動分野と地域を越えて連帯して声を高めていくプロジェクトであるジャパン・ユース G8 プロジェクト、そして本年7月北海道千歳で開催される、日本政府・ユニセフ共催のジュニア8(エイト)サミット(<http://www.unicef.or.jp/j8/>)に参加する代表チームのメンバーをはじめ多くの若者達が参加する。

進め方

- ユース ダイアログの目的はアフリカ、アジアの若者が TICAD IV の優先課題に関する経験を共有し、学びあうこと。
- そのために、準備段階で、各国のユース グループは TICAD IV の優先課題の中から関心の高いものを選び、その課題についてそれぞれの国でどのように対処してきたかを議論する。議論の結果はダイアログで発表される。
- ダイアログではアジアの国々からの意見も聞き、アフリカの若者が課題に対する視点と、元気なアフリカにするための道のりを示す。

お問い合わせ先

世界銀行東京開発ラーニングセンター

東京都千代田区内幸町 2-2-2 富国生命ビル 10 階

電話:(03)3597-1333 FAX:(03)3597-9161

メール jointokyo@worldbank.org ホームページ <http://www.jointokyo.org>